

腎泌尿器外科

後期研修概要

1. 大学院コース

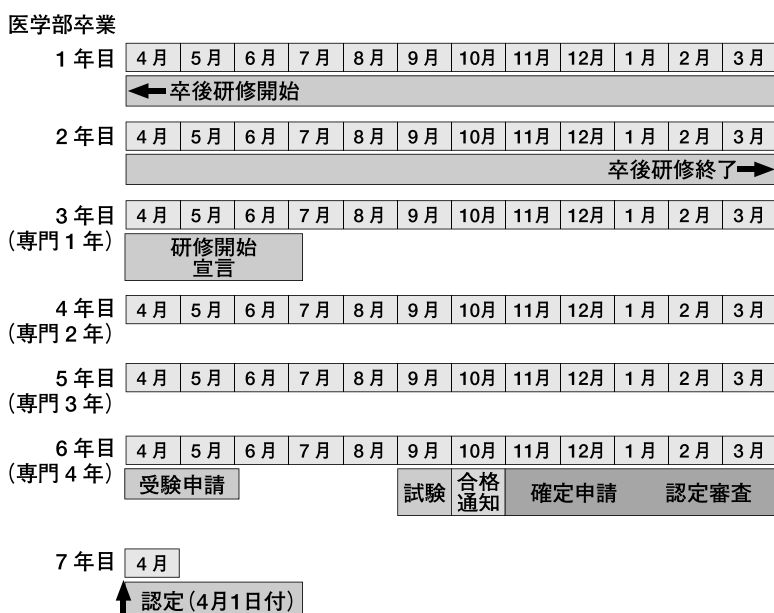
泌尿器科関連領域の研究として、泌尿器腫瘍学コース、病態神経生理学コースを開講し、学位取得のための指導および教育を行う。なお大学院在学中の泌尿器科専門医のための研修については、旭川医科大学病院において可能な必修研修を行うことにより、最大2年間まで認められる。

2. 泌尿器科専門医コース

本コースは、2年間の卒後初期臨床研修を修了し、泌尿器科専門医を目指す医師を対象にしている。卒後初期臨床研修を通じて学んだプライマリ・ケアを中心とした基礎的・基本的臨床能力を再確認すると共に、泌尿器科全般の診療を習得し、泌尿器科専門領域の研修を行う。これらにより、全人的医療を身につけることは勿論のこと、最終的には泌尿器科専門医を取得することを目的とする。

実際には、旭川医科大学病院および関連施設において、卒後研修2年に泌尿器科専門研修4年を加えた計6年間の研修を行い、泌尿器科専門医の資格を取得する。泌尿器科専門研修1年目は入院・外来診療や手術を通じて、泌尿器科基本的臨床主義を習得する。研修2～3年目では主に専門医基幹教育施設において、入院・外来診療、手術や泌尿器科救急診療などの、より実践的な技術を習得する。研修4年目では開腹手術や内視鏡手術などの、より高度な技術を習得するとともに、後輩の指導もあわせて行う。なお、全研修期間を通じ、教育研修として学会における各種プログラムへの参加および臨床統計や症例報告などの臨床研究を行い、専門医認定に必要な単位を取得する。一方、基礎研究にも積極的に参加させることで、将来にわたる専門研究への動機付けも行う。

《専門医認定までのタイムスケジュール》



(3) コースの実績

2009年の旭川医科大学病院腎泌尿器外科および関連施設を合わせたコース全体の手術症例数は総計4000例程度あり、指導者は泌尿器科専門医・指導医、各種分野の専門医・指導医などの資格を有し、十分な診療実績がある。

(4) コースの指導状況

旭川医科大学腎泌尿器外科学講座には、7名の日本泌尿器科学会指導医、11名の同専門医が常勤している。また関連施設も指導医および専門医が常勤し、日本泌尿器科学会基幹教育施設または関連教育施設に認定されている。

(5) 専門医・指導医の取得等

学 会 名	日本泌尿器科学会
資 格 名	泌尿器科専門医
資 格 要 件	<p>●専門医認定資格（初回）</p> <ol style="list-style-type: none">1. 日本国の医師免許証を有すること。2. 申請時において、日本泌尿器科学会会員であること。3. 専門医の資格取得に要する研修期間は、臨床研修2年と泌尿器科専門研修4年の計6年以上とする。4. 専門医教育施設のうち、基幹教育施設において2年以上の研修を要する。5. 日本泌尿器科学会認定の教育プログラム、認定学術集会への参加ならびに業績発表の総計100単位以上を取得しておかなければならない。6. 学会の行う専門医資格試験に合格していること。 <p>●試験内容</p> <ol style="list-style-type: none">1. 筆答試験：研修目標に従って行われた3年ないし4年間余の研修について、専門医資格試験委員会において用意された試験問題によって評価が行われます。専門医としての基本的知識に加えて臨床能力を評価する問題が広範囲から出題される。2. 口答試験：日本泌尿器科学会専門医制度審議会が作成したパワーポイントファイルを使った規定問題が出題される。また、一般的知識・泌尿器科全般についても質問される。規定問題と自由問題の合計20分間を基本とする。規定問題は、前立腺癌、膀胱癌、腎癌、尿路性器感染症、尿路結石症、排尿障害・尿失禁、前立腺肥大症の7領域の中から出題される。
●学会連携等の概要	<p>大学院在学中の研修については、泌尿器科専門研修に従事したことを研修実施施設の指導医が証明する限りにおいて、泌尿器科大学院在学中の2年間を限度に研修期間として認められる。外国留学期間は、留学先で泌尿器科診療に従事していたことを証明できる場合は研修期間として扱われる。</p>

連絡先／腎泌尿器外科学講座 講師：松 本 成 史

電 話：0166-68-2533

Email：matsums@asahikawa-med.ac.jp